

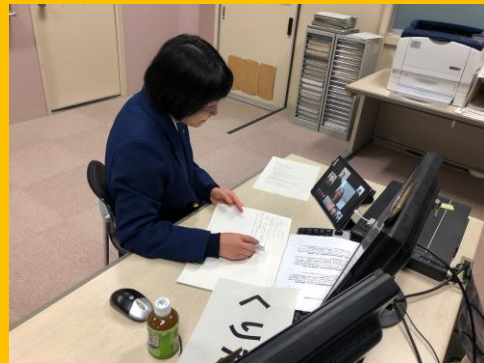
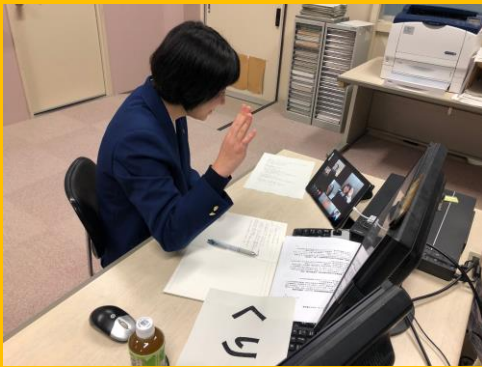
グローバルコースの栗田悠衣さん(新3年)が 国連オンラインセッションに参加した模様をお届けします!

令和2年3月27日(金)に、「奥・井ノ上青少年国連訪問団 オンラインセッション」が開催され、本校グローバルコース2年の栗田悠衣さんが参加しました。本来であれば、ニューヨーク国連本部への研修視察が予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、その代替措置として本セッションが行われました。

セッションでは、岡井朝子・国連事務次長補兼国連開発計画(UNDP)危機対応局長、星野俊也・国際連合日本政府代表部大使、古本建彦・国際連合日本政府代表部参事官と、日本各地の中高生がオンラインでつながり、意見交換を行いました。

栗田さんは、現在感染が広がる新型コロナウイルスについて触れ、「UNDPが日本政府に対してどのような手伝いや支援をしていますか。」と質問し、岡井局長は「日本のようにしっかりと対応できない国もある。そうした国への支援を日本政府にもお願いしている。」と回答されました。

栗田さんはセッション後の感想文中で、「このような地球規模の問題を自分事として考える若者が一人でも多くなり、国連と私たちが『協力』していくことが重要になってくることを、このセッションで一番強く感じました。」と述べています。



本セッションの様子は、下記で取り上げられています。
朝日のウェブ記事では、栗田さんのやりとりの様子が写真つきで紹介されています!

◆朝日のウェブ記事

<https://withnews.jp/article/f0200329001qq0000000000000000W06k10101qq000020793A>

◆産経のウェブ記事

<https://www.sankei.com/life/news/200327/lif2003270039-n1.html>

◆外務省HPより

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/unp_a/page4_005129.html